

川上塗装工業の仕事のぞいてみました



屋根などを直します。雨どいのはじは半円形のトタンをキクの花のように折り曲げて作ります。数分で仕上げますが、一人前になるまで7、8年はかかります

板金



大工

床や外壁を取りかえます。床下部分も頑丈に作ります。大工部門長の嶋野圭一さんは「お客さまが喜ぶと、またがんばろうという気持ちになります」と張り切ります



塗装

外壁や屋根にペンキをぬります。塗装部門長の佐々木繁さんは「長持ちするよう、きれいに仕上げることが一番です」と意気こみます



装飾塗装

ペンキで図柄を描いたり、木や鉄などの質感を表現します。ドアに黒と銀色のペンキで高級感を出します



パソコンも活躍

IT化にも力を入れていきます。お客さまがわかりやすいよう完成予想図を作ります。さまざまな仕事が簡単に早くできます

職人さんのある日のいちにち

午前 7:30	8:00	10:00	午後 0:00	1:00	3:00	5:00	5:30
出社・ミーティング	板金、塗装、大工の現場で仕事をします	休けい	仕事	昼食	仕事	休けい	仕事
							仕事を終えて会社に帰る
							退社

盛岡市三ツ割3丁目川上塗装工業は、屋根の修せんなど建物を雨や風から守り、長持ちさせるための仕事を主に手がける会社です。川上秀郎社長(36)は「社員と力を合わせ地域の役に立ちたい」と意気こみます。現在、川上社長の妻で専務の冨華さん(32)と社員9人、パート1人を含む合計12人が仕事にはげんでいます。

岩手県のお仕事探検

盛岡・川上塗装工業のみなさん



川上塗装工業のみなさん。力を合わせるものづくりに取り組んでいます

す。ペンキが長持ちする。ペンキが長持ちするよつ、よこれをしつかり除き、ていねいにぬります。「板金」はさびたり雨もりがする屋根や雨どいを直します。回注文でも、さまざま。「大工」は、古くな床の張りかえな。各部門が協力してどです。寸法をこまめ

お客さまの要望をもつとかなえるため、壁やドアにペンキで図柄を描いたり、石や鉄でできてくるかのように表現できる「装飾塗装」という技術も広め

仲間のチームワークが大切

「この仕事につくは危険な場所での仕事がたくさんあります。気持ちを一つにしないと重大な事故につながります。足りないところを補い、高め合う努力が大切です。あいさつをしつかりすること。お客さまの要望を聞き方も不可欠です」

プロフィール

ふりがな	かわかみとそうこうきょうかぶしがいいや
会社名	川上塗装工業株式会社
住所	盛岡市
ふりがな	かわかみひでお
社長名	川上 秀郎
年齢	36



会社の歴史

- 2005年 川上さんは青森県三戸町で修行を積み、盛岡市で塗装業をはじめ
- 2013年 株式会社となり板金、大工も充実させ3部門体制をとる
- 2015年 創業10周年。地域に必要な会社へ、新たにスタート

とお客さまの役に立つたのか、わかるしくみを作りました。仕事がとぎれる冬の期間も社員を雇い続けます。社員のやる気が高まり、利益増につなげています。

川上社長は「社員を大事にすると社員はお客さまを大事にするので、お客さまがまた仕事を頼んでくれます。地域とともに会社も成長していきたいです」と意欲を新たにします。

「会社の建物や技術を住民が気軽に利用できるよつ社屋にカフェ体験ができるスペースと、作品作りを楽しむ作業場を建設中です。地域に愛され必要とされる会社をめざして発展していきたいです」

リフォームまかせて